

*なかなか自分自身、コミュニケーションが得意とは言えないので、いろいろな小道具ひとつでも工夫して雰囲気を変えることができる、ということを知りました。教育をとりまく情勢などをわかりやすく解説をもらっていただき、とても良かったです。さっそく2学期、GWTなどに活用していきたいです。ありがとうございました。

*今日はありがとうございました。最後にしたすごろくトークは、みんなが笑顔になりながら自分のことを話せるワークで、自分のクラスの現状から、ちょうど2学期に自分の思いを出し合える活動にしたいなと思っていたところなので、とても参考になりました。

*認められるということは、とても大事なことで最近強く感じます。我々の中でも、子どもたちの中でも、それは大事だと思います。それをクラスのためにどう作っていくかをこれからも考えたいと思います。でも、その前に自分自身が自分自身を肯定し、元気であることが大切でしょうね。

*昔、母から聞いたことがあります。私がずーとしゃべっていて、母は用事をしながら「へー、そう」など延々と相づちをうっていたそうです。それを聞いていた人が、「よく延々ときいてられるね」とびっくりしたそうです。I先生(今年99歳)の先生の教えだそうです。受容してもらって育ちました。

*ストレスの構造図はなるほどと思いました。うまくまわっている子(認知力の高い子)はどんどん(放っておいても)成長するし、悪循環の子はどこまでも・・・ですよね。その対処法として個々の認知能力を高めていく必要があるのだということがわかりました。「へー、そうですね」と言われるのはとっても嫌でした。自分の思ったとおりの反応をしたいと思ったからです。でも、話している分としては聴いている人の反応が受けいられると勇気づけられるということがわかりました。

*はじめから、とても楽しくお話をきかせていただきました。子どもたちの話を聞く時、すぐに話をさえぎって訂正してしまったりするので、まずはしっかり聞いていきたいと思います。

*自己肯定感を高めなければどうしようもないほど、教育はいきづまっています。楽しさを伝えるのもその一つだと考えています。最初、深美先生が細い声で話をされたとき「ちっちゃ」「なに？」と思いました。でも、「へー」「そうなんですか」の効用を伝える一つの手段だとわかってよかったです。今日は、遠いところありがとうございました。

*「へー」「そうなんですか」から始まった講演でしたが、楽しめた所、勉強になった所、たくさんありました。サイコロを使ったすごろくでは、少しずつ深い質問があつて答えにくかったです。他の先生とのやりとりが楽しかったです。

*終わりに行ったサイコロゲームは、グループの人のうちとけるのに大いにやくだつであろうと思われる。

*体験、ゲームもよかったです。もっとお話をうかがいたかったです。

* 深美先生の話術に引き込まれました。「へえー」ってなかなか言えない自分があるなぁと気づかされました。

* 動きがあり、コミュニケーションをはかりながら楽しく研修をさせていただきました。自分が知らないこともたくさんあり、もう少しきかせて頂きたいと思っています。

* 子どもに自己肯定感を持たせるために、自分が自己肯定感を持てるようにすることが一番大切、最後のお言葉が今日のまとめのような言葉として、受けとめさせていただきました。ありがとうございました。

* 人の思いを感じれる人間でありたいな。うなずきにより、人が近くになること実践していきたいな。子どもたちが“自分が大好き”になれる気持ち育ちを、日々の中すすめたいな。

* とても楽しく温かな雰囲気の中、研修を受ける（楽しむ）ことができました。自己肯定感を高めるには、まず教師から・・・というように、指導者の開かれた心が生徒を導くものと思います。勉強しなければならぬことは多いですが、今日のことを大切に、生徒に接していきたいです。

* 非常に楽しく時間を過ごすことができました。自己肯定感を強く持てない子どもらのためにも、自らの成長が必要なんだということを実感しました。本日はどうもありがとうございました。

* 今日は面白いご講演ありがとうございました。私は人前に立つのはあまり得意ではないので、うなずいていることが性にあっているような気がします・・・“メッシ”さんのように、いつも堂々と話せたらなぁと思います。班替え後にすごろくを作ってやってみたいなぁと思いました。

* 学力で自信がもてる子ばかりではないので、人それぞれが何らかの形で自分の価値、存在感がもてるのが大切なのだとおもいました。学力調査の結果にとらわれすぎることなく、子ども達がのびのびと自分らしくいられるように育てていきたいと思いました。

* サイコロを使ってすごろくをしながら自分のことや他の人のことを知っていくゲームをしたことが印象に残った。他の人のことを知るということが仲間づくりの基本になると思うので、こういうゲームをクラスでもやってみるとよいと思った。認知のことについてももう少し詳しく話を聞きたかった。ありがとうございました。

* 楽しみながら研修に参加することができました。教師がある意味、演じ、子どもたちをリラックスや本音を引きだしていくことが大切だと思いました。深美先生の人をひきつける話術をまねしながら二学期がんばりたいと思います。

* 楽しい雰囲気にひきずりこまれるように話をきかせていただき、2時間あっという間でした。夏バテ気味の心と体に元気をもらいました。ありがとうございました。

* 今日はありがとうございました。授業中気づかないうちにストレスからホッとしている子は多いだろうと思いました。つつい教科内容に追われている自分に気づかされました。教師も子どもも人とうまくかかわれば楽しい。人といい関係を作れる子ども達にしたい。

*楽しい講演をありがとうございました。最近のニュース（夏休みになってじっくり新聞が読める）の中で秋葉原の事件のこと、ひきこもりの人数のこと、両方とも私の心の中にひっかかっていたのに、つなげて考えていなかったの、何だか、本当に、はっとし、こわくなりました。私たち教師にできることは小さくても、でも、やっていかなければと思います。人の心をあたためるエクササイズ、身につけていきたいと思いました。

*自分自身が、子ども目線、気持ちになって（上から目線ではなく）やっていくことが必要だと感じました。

*とても楽しく講演を聞かせていただきました。認めること・認められること・肯定すること・されることは日常的に行っていきたいと感じました。生徒一人ひとりを認めていきたいです。

*僕は自己肯定感が低いことと、自己肯定感は低く答えることは別だと思っています。低く答えることで自分を守っている、うまくいかなかったときに、奥にある本当の自分が傷つかない為のクッションだと思います。自分のことは大切にしたいけど、大事にどうしたらいいかわからないことのあらわれではないでしょうか。

*今日はありがとうございました。一方通行の講演会（これが悪いとはいいませんが）ではなく、参加型を取り入れたお話のされかたにひきつけられると同時に、前に立って話すときのスタンスの取り方を学ばせていただきました。

*今日はありがとうございました。お話は少し難しかったです。反応の仕方は練習してみます。

*先生の話術で知らず知らず心がひらかれていったように思います。子どもたちの前に立った時いつもそうでありたいと思いました。自分が自己肯定感をもつということは子どもをみとめられる力がある 私の心にストーンとおちました。ありがとうございました。

*現代の教師の役割が非常に多岐にわたっていると改めて感じる事ができました。子どもたちが望む人間（大人）のモデルとなれるよう、今後も信号の赤のときは渡らないようにしたい。

*独特の雰囲気でもっともお話を聞かせていただきました。ストレスへの「対応」をどう教師として促し、意識するか考えていきます。

*「人間」としての部分、難しく「人権」（声高に）と言うのではなく、ふだんの生活の中での気づきの大切さをやさしく伝えていただいたと思います。「あこがれ」は、人間が発達成長していく上で大切なものと再確認しました。自分の弱さは「認知」だと、つくづく・・・。

*先生の話に引きこまれて、ずうっと話をきいてました。子どもたちの中には、様々な苦しい生活環境の中におかれている子が多くて、まわりの子どもたちとも充分につながっていけない状況があります。どの子も将来の見通しがもてるように育てていきたいと思います。

*話してみてもわかること、話してみてもつながること。それを実感しました。相手を知り、自分にも知ってもらおう。お互いを尊重しあえてステキです。ありがとうございました。

* とても楽しい研修でした。子どもを受け止める心が自分には足りなかったかもと気づくことができました。ありがとうございました。

* とても楽しく参加させていただきました。子どもたちを受け入れること、頭ではわかっているけれど、こっちの意見や考えを押しつけてしまうこと多々あります。「へえー」「そうなんだ！！」大切にしたいです。

* 人との対話のルール決め、ネームプレートなど大変なじみやすく、よかった。心をひらかない生徒が多いので、もっと自分自身、変化させていかないといけないと感じた。話す能力が低いので勉強していきたいと思った。

* 今日は、とても楽しい時間をすごすことができました。ありがとうございました。「教師自身が自己肯定感を持つこと」という言葉が身にしみました。

* 大阪の大変さ、学力テストの結果からの地域による現状のちがいなど、よくわかりました。それをふまえた上で、そこからどうしていくか、を体当たりでやっていくことの大切さを確認できた。ありがとうございました。

* 我々教師が心ひらいた状態でないと、子どもたちも心をひらいてこないということがよくわかりました。そのための数々のエクササイズ等、とても勉強になりました。ありがとうございました。

* とても楽しい講演ありがとうございました。子どもたちの様々な背景を考えながら、教育をしていかなければならないことがわかりました。

* 楽しみながら参加することができました。手遊び、ゲーム etc を通して今日の講演の内容が自分に伝わってきました。

* 始まりからおわりまで、とても楽しく参加（聞く）ことができました。自分自身に最初に名前をつけたところから、「へえ～、そうなんですか」ばかりでした。最後のスゴロクなど学級でしたことがあるのですが、内容をかえてもっとしてみたいと思いました。

* 同じ職場の方でもふだん知らないこと（好きな食べ物とか）を知ることができて、きづなが深まった気がした。楽しかったです。

* やりたくても、できてないことっていっぱいあるんやなと思いました。

* 楽しい時間を過ごさせてもらいながら、いろんな大切なことを学ばせてもらいました。1つでも、2つでも実践していくことができたらと思います。

* 「へえ」「そうなんだ」という言葉で、不安がやわらぐということを改めて感じました。クラスでもこういった反応や受けとめる姿勢を大切にしていきたいと思いました。「百マス計算をしません」と言われたとき、私はハッとしました。子どもたちの中にも、このような思いをしている子は何人いるのだろうか、はっとしました。子どもたちが思いを自然に出し、安心できるなかまづくりを、心がけていきたいです。ありがとうございました。楽しかったです。

* 楽しく講演を聞かせていただきました。「そうなんだ」などと話を聞くときに、認めていくことを大切にしていきたいと思いました。

* 楽しく勉強させてもらいました。お話がとてもおもしろくて引き込まれました。

* はじめ先生の小さい声から始まり、100マス計算やませ〜んなど、こんなに心が動く事に驚きました。その心の動きが心地よかったです。先生が最後に質問に答えられていた、自己を認めるにはまず教師からというのは、まさにその通りだなと共感いたしました。本日はどうもありがとうございました。